帰　国　報　告　届（教職員）

（２０２０年新型コロナウイルス対応版）

提出日：　　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| １．渡航者氏名 |  |
| ２．所　　　属 |  |
| ３．職　　　名 |  |  |
|  |  |
| ４．渡航先・渡航期間渡航した国・地域・都市名及び渡航期間を記入してください。欄が不足する場合は備考欄に記入してください | ①国・地域名 | 都市名 |
| 　渡航期間　　　　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| ②国・地域名 | 都市名 |
| 　渡航期間　　　　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| ③国・地域名 | 都市名 |
| 　渡航期間　　　　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| ５．現在の症状該当欄に✓を記入してください | 危険レベル１以上の国・地域へ渡航した方は、現在の体調をお答えください。□ 37.5℃以上の発熱がある□ 呼吸器症状がある□ 37.5℃以上の発熱及び呼吸器症状がある□ 特に問題なし |
| ６．備考 |  |

●感染流行地域及び危険レベル１以上の国・地域に渡航・滞在した方は、日本に帰国した際に、この届により帰国報告を行ってください。

　　提出先：【学生】所属部局の学務担当係　　【教職員】所属部局の総務担当係

●Ａ．感染症危険情報の危険レベル３の国・地域への渡航歴・滞在歴のある者、又は同危険レベル３の国・地域在住の方と接触があった者

1）帰国日から２週間以内に37.5度以上の発熱があり、かつ呼吸器症状もある場合には、最寄りの「帰国者・接触者相談センター」に電話相談して指示を受けてください。医療機関を受診するよう指示を受けた場合は、他の人との接触を避け、マスクを着用するなどし、事前に当該医療機関に連絡した上で速やかに受診してください。そして、医療機関を受診した結果を保健管理センターに伝えてください。

2）上記1）に該当しない場合であっても、帰国後２週間は外出を控え、自宅に滞在してくださるようお願いします。この間の授業や試験の欠席の扱いについては、所属学部・大学院へ確認してください。なお、この間に発熱と呼吸器症状が出現した場合は、上記1）の対応をとってください。

Ｂ．感染症危険情報の危険レベル２の国・地域から帰国し、同危険レベル３の国・地域在住の方と接触がない者

1）帰国日から２週間以内に37.5度以上の発熱があり、かつ呼吸器症状もある場合には、最寄りの「帰国者・接触者相談センター」に電話相談して指示を受けてください。医療機関を受診するよう指示を受けた場合は、他の人との接触を避け、マスクを着用するなどし、事前に当該医療機関に連絡した上で速やかに受診してください。そして、医療機関を受診した結果を保健管理センターに伝えてください。

2）帰国の時点で発熱や呼吸器症状がない場合でも、帰国後２週間は検温等の健康観察を行ってください。なお、この間に発熱と呼吸器症状が出現した場合は、上記1）の対応をとってください。